

2016年 6月 No31

平成28年度 「希望」 通常総会 開催

記念講演に懐かしい四方田清先生を招く

5月26日(土)10時から、四街道総合福祉センターで「希望」の通常総会が行われました。当日は、会員総数48名中、実出席20名、委任状提出35名で総会は成立。

西公一理事長は冒頭の挨拶の中で、「27年度の活動の中では、リサイクル協定を四街道市との間で締結したこと、当法人が市の提案制度に応募し採用された「しごと受注協議会」が市からも民間からも仕事を受注できるように、他の事業所とも連携して活動している等が特徴である」と述べました。

また市長(代理福祉サービス部長)、岡田哲明市議会議長、小澤芳雄社会福祉協議会事務局長が来賓として祝辞を述べて下さり、他にも大勢の来賓がお見えになりました。

総会では、27年度事業報告、活動計算書、監査報告が行われ、会員からはしごと受注協議会について、今後加盟団体を増やして行くことや、発注元についての質問が出されました。また、28年度の事業計画、活動予算についても提案通り承認されました。

総会終了後、かつて家族会「ホープ」の立ち上げの際にご助力下さり、現在は順天堂大学の教授の四方田清先生が、約1時間に亘り講演をして下さいました。

希望会員以外のかたも講演をお聴きになり、意義のある記念講演でした。

なお、今次総会は役員改選の年には当たらないため、現理事・監事が引き続きその任に当たります。よろしく願い致します。

安定期からさらに飛躍を目指して 理事長 西 公一

本年度の通常総会が無事に終了しまして、新年度の活動が始まりました。法人の中心的な事業である「どんぐり工房」の運営は、ひと頃の利用者の減少をみんなの努力で回復し、昨今は新規の利用者が増えるなど活気を呈しています。

法人として地域の障がい者の生活に必要な新たな事業に取り組む必要性も感じています。会員みなで一緒に考え、行動をして行きましょう。どうぞ宜しくお引き立てください。





法人に寄付を戴きました

会員の伊佐勉さんから

6月8日 会員の伊佐勉さんがどんぐり工房を訪れ、100万円もの多額のご寄付をくださいました。

贈呈に当たって、西公一理事長、戸田由紀子副理事長が伊佐さんから小切手を手渡され、「法人の今後の事業に、有効に使わせていただきます」とお礼を申し上げま

した。伊佐さんは、「障がい者のために力を尽くしている「希望」に益々頑張っ欲しいので」と期待を込めた寄贈であることを語られました。

「希望」では早速このご寄付を、新規事業のための準備基金とする手続きを行いました。

(写真は西理事長、戸田副理事長に寄付金を手渡す伊佐勉さん)

(株)リーテムとリサイクルの 引き取り契約を結ぶ

法人希望と(株)リーテムはどんぐり工房で解体した小型家電(主として携帯電話)の引き取りに関する契約を4月1日付けで締結しました。

四街道市とは、昨年12月に市民の皆さんが回収ボックスに投函した、携帯電話をどんぐり工房に提供する契約を締結しましたが、その解体した部品類を引き取る契約が結ばれたのです。

この結果、どんぐり工房における、小型家電の解体作業は、大いに弾みがついてますます活性化されるでしょう。

ただ、残念ながら現在は解体部品の市況が大変厳しい状況ですので、工賃アップには繋がらない環境ですが、解体作業の部品の入り口と出口が確保されたことは画期的なことです。

こころがけ

私は 小さな事を 気にする時がある
そんな時は 良い「わすれんぼ」になろう

楽しい事だけをみつけて
小さなトゲは 優しく抜いて

ほら こんなに心が楽になった
これが続けていったら この世は楽園ね

とも作

編集子雑感

どんぐり工房のクッキーやジャムが市民有志の手によって、南相馬の被災者の皆さんに届けられています。

私たちの製品が被災者支援と市民間交流の懸け橋に！嬉しいことですね。y